学校・団体

千葉市少年自然の家プログラム　施設利用

キャンプファイアー

場所	営火場
時間	1 時間 30 分～ 2 時間
値段	料金表参照
季節	年間
人数	200 人程度まで

プログラムの概要・ねらい

一つの火を輪になって囲むことで、参加者の連帯感や親睦を深める。キャンプ生活の導入や振り返りなどに用いることもできる。ねらいによって、内容や実施方法が大きく異なる。

準備物

【利 用 者】軍手、革手袋、ライター、音響機器
季節に合わせた服装、救急用品

【自然の家】薪セット※（太薪 6 段分、細薪 4 束、トーチ 2 本、トーチ用灯油）
※追加トーチは必要に応じて
電気コードドラム

①準備

※火の神の衣装は、必要に応じて団体で持参する。

事前に実施の有無・薪組みの時間をサービスセンター受付に伝える。
資料「キャンプファイアー実施手順（準備・片付け）」・
資料「キャンプファイアー薪組み」を参照し、事前に準備、薪組みをする
。

※薪組み後、荒天等で実施できなかった場合も料金が発生する。
安全上灯油をかけない

【役割】

① 火の管理を行うファイアーキーパーの役割を決める。
※炎の調整、ゲーム中の安全管理などを行う。

② 必ず綿の長袖、長ズボン、軍手、革手袋、帽子を着用する。

● 野外炊飯場のバケツ、火ばさみ等を使用し安全に行う。

【太薪】

【細薪】

【トーチ棒】

②実施の流れ

実施直前に、サービスセンター受付に灯油を受け取る。※必要であれば電気コードドラムも

キャンプファイアーには決まり切ったマニュアルや形態はない。
＜キャンプファイアーの種類　一例＞

・セレモニカルファイアー
挨拶や誓いの言葉などによる儀式的なファイアー。キャンプの最終日などに終始一貫してゲームなどを用いずに行われる。

・ボンファイアー
参加者が一堂に会し、歌やゲーム、ダンスや演奏そして寸劇（スタンツ）などレクリエーション的なプログラムで親睦を深めようとするもの。楽しく過ごすことが前提。キャンプの初日などに用いられ、レクリエーションとしての要素が大きくなる。

・カウンシルファイアー
キャンプの基本精神を象徴するためのファイアー。キャンプの数日間を振り返ったり、思い出や日々の出来事から学んだことを考え話し合ったりする。参加者の感想発表などを主な内容とする。最後の夜に振り返りのプログラムとして用いることもできる。

③後片付け

資料「キャンプファイアー実施手順（準備・片付け）」参照し、片付けをする。

2025/03/01 改訂

キャンプファイアー実施手順（準備・片付け）

	手　　順	備考
準備	営火場に出してあるものを確認し薪組みを行う。 ・セット（太薪12本、追加用細薪4束、トーチ2本）（写真①） ※雨が降りそうな時はブルーシートが掛けてある。 ※ドラムコード、灯油（トーチ用）はサービスセンター受付で受け渡し。 （忘れずにお受取り下さい。）	写真①　キャンプファイアーセット
	薪組みを行う。（別紙「キャンプファイアー薪組み」参照） ※追加用の薪は組んだ薪から離れた場所（ファイアーキーパーの待機場所等）に置く。	
	電源の位置を確認し、音響等の準備を行う。 【電源位置】 営火場A　：　屋外トイレ内 営火場B　：　野外炊飯場B内ベンチ脇または屋外トイレ内 ※音響機器は学校・団体で準備（備付けの音響設備なし） ※適正な音量で使用	
	トーチの準備を行う。 トーチの先端（タオル・布の部分）に灯油を染み込ませる。余分な灯油はしっかり落とし、灯油がたれないようにする。 ※灯油のつけすぎに注意 ※準備後のトーチ、灯油の管理を徹底する	
実施	キャンプファイアー実施 ※事前に消火器の位置を確認 ※やけどに注意	
片付け（当日）	火のついた薪はそのまま燃やし尽くす。 →火が小さくなったら営火場を離れる。（最終片付けは翌日） →余った薪は回収用のカゴに入れておく。（写真②） ※絶対に水をかけて消火しない ※風の強い日は当日中に片付けを行う	写真②　薪回収カゴ 【営火場A】　【営火場B】
	トーチ、余った灯油、ドラムコード、ブルーシート（出ていれば）をサービスセンター受付へ返却する。	写真③　灰の片付け
翌日	野外炊飯場の掃除道具で燃え残った薪・灰を集めて、水を張った金バケツに入れ、野外炊飯場のゴミ置き場に置く。（写真③）	

2025/03/01改訂

キャンプファイアー　薪組み

キャンプファイアーの薪組みは様々な方法がありますが、以下に一例を示します。安全にご注意いただきながら、楽しく思い出に残るキャンプファイアーを実施ください。

薪組みの仕方

①

1. 営火場に準備してあるキャンプファイアーセットを確認する。

セット・・・太薪 12 本（6 段分）・薪 4 束・トーチ 2 本・灯油(写真①)
※雨天が予想される場合、ブルーシート貸出

②

2. 太薪を井桁に組む。

太薪を漢字の『井』のように組む。(写真②)
太さを調節しながら、出来るだけ平行に組むようにする。
最下段にトーチを入れる場所を確保する。(写真③)

③

3. 井桁の中心に細い薪を選び詰める。

薪束の薪を井桁の中心に詰める。(写真④)
中心から外側に向かって細い薪から太い薪と詰めると火のつきが良い。

④

4. 完成(写真⑤)

5. トーチの準備を行う。

⑤

トーチの先端の布に灯油を染みこませる。
余分な灯油は絞るか、良く振って落としておく。
（灯油を垂れるほど浸すと、点火時に手元に火が延びてくるので注意する）

※雨天が予想される場合、当日にキャンセルすることも可能だが、
　薪組みをしてしまうと料金が発生するので注意する。
※薪束（細薪）・トーチは追加注文可能（別途料金）。

2025/03/01 改訂